

- ◆ 1回目 カメラを使い実技を通していい写真を撮るテクニックなどに挑戦。
- ◆ 2回、3回でフォトショップ エレメント4で写真の編集などに取り組む。

カメラ = キヤノンデジタルカメラ Power Shot A530

このカメラでは電池は 「単3形アルカリ電池」(ニッケル水素)2本を使っているため電池切れのときでも、交換がしやすいと思います。  
また、記録メディアは 「SDメモリーカード」を使用しています。

- デジタルカメラで撮影するのは、「オート」の性能が良くなり全ての撮影が、表情豊かに無難に写すことが出来るようになった。  
しかし、マニュアルでの撮影はその場所など、条件によっては大切なテクニックです。

始めにデジタルカメラの基本的なことを少しふれておきます。

#### ■ 露出

写真を撮影するには、人の目から見たそのままを記録されるものだと考えられています。

きれいに記録するために、レンズを通して適正な光量を取り込むための仕組みが、レンズと絞り、シャッターなどです。

この調整された光を電気信号に変換するようになっています。

これをCCDなど撮像素子を通して電気信号に変えて記録するわけです。

#### ■ ISO感度

CCDやCMOSといった撮像素子が光を感じ取る性能のことです。

このカメラでは80から100/200/400/800ですが、高機能機では3200くらいのももあります。数値を上げるほど感度が高くなる。

暗い場所での撮影が可能になる。(ノイズは多くなる)

#### ■ ホワイトバランス

太陽光と人工光源では、光を構成する色や光自体の色温度が違う。

これを白い紙などで現在の光りは白だと記憶させること。

マニュアルでこれを設定できる。

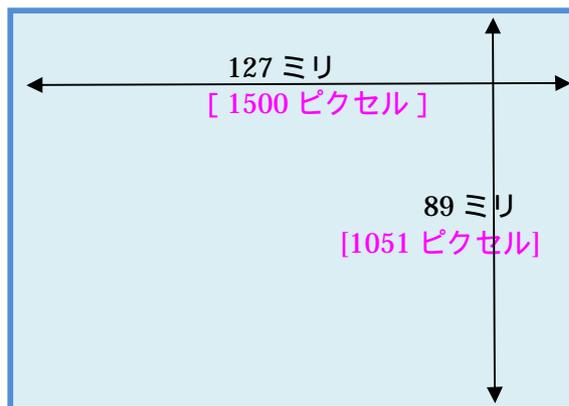
機種にもよるが、太陽光。くもり。電球。蛍光灯。などで選ぶことも出来る。

## ■ 画素数

デジカメの内部で写真を撮影するために使われる画素の総数などのことで、1画素は画像を構成する最小単位の点で、ピクセルとも言う。画素については非常に複雑で理解をするのは難しい点があります。有効画素数が高いほど精細となる。(モザイクのようなもの)

この A530 は 600 万画素。

## ■ 印刷



プリンターで印刷するさいの L 判サイズの最高画素数は 600 万画素くらい。それ以上の画素数になっても人の眼では差を判断は出来ないといわれている。インクジェットプリンターは、解像度が 1 インチ当たり 300 ピクセルの解像度で印刷すれば、画質の上限に行き当たるともいわれている。

「300dpi」について

(1 インチ = 25.4mm) = 300 ピクセル (ドット)

L 判サイズは横 5 インチ × 縦 3.5 インチ

(127 × 89mm)

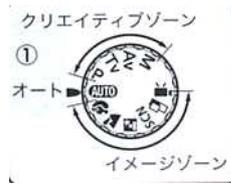
$$127 \div 25.4 \times 300 = 1500$$

$$89 \div 25.4 \times 300 = 1051$$

1500 × 1051 ピクセル = 総数 157.5 万画素。

カラーの場合 4 つの画素で 1 つの色を表示するので 600 万画素は L 判サイズでは最高の印刷が出来るといわれている。

## ■ マニュアル



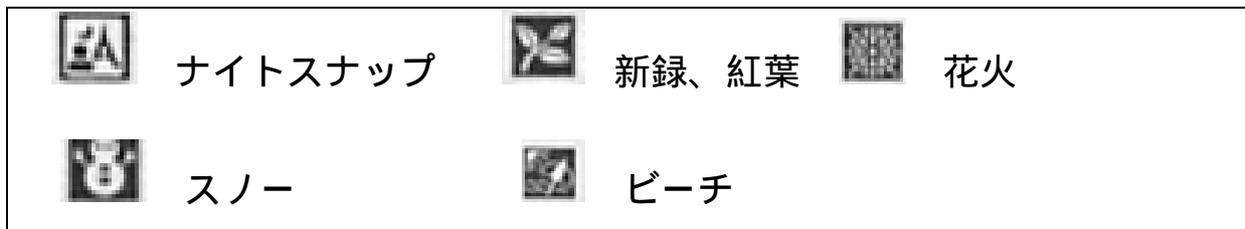
ダイヤルを使って選ぶことも出来る。  
また、メニューから細かいシーンモードを使って撮影することで一段ときれいな写真が出来るかもしれません。

### モード



ポートレートを使ってみよう。

SCN（スペシャルシーン）最適な撮影のためのシーン



よく使われるシーンモードでこのほかにもメーカーによって沢山用意されているようです。

これらの中でオートでの撮影と、モードを使うことで写真の出来具合に違いがあるかを試してみたいとおもいます。